

桜楓たより

第9号

編集・発行

日進桜楓霊苑案内所
株式会社 大興企画
〒470-0102
日進市藤島町寺下甲29
☎0561-72-5454

お盆を迎えて

龍谷寺住職 成田隆真

今年もお盆がやってきました。亡き人の御霊にあえる年に一度の時です。初盆の方は、より一層想いが深いと思います。



お盆の行事は、日本文化の基本です。日頃忙しく過ごしている私たちが、お盆に家族や親戚と顔を合わせ、ひと時ゆったりとした時間の中に身をおき、自分の生命の流れに気づく時です。また、彼方へ旅立たれた方の心をお仏壇にお迎えし、お盆の間共に過ごします。これは、西洋文化にはない素晴らしい日本の伝統文化です。現代の生活

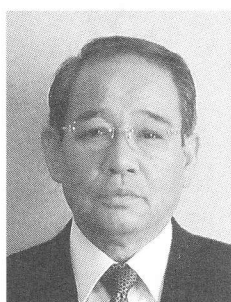
が西洋化されていますが、私たちの心には、しっかりと日本人としての遺伝子が流れているのです。

「眼にみえないものを見る」という素晴らしい内面の深さは、日本文化ならではのものです。日本文化の衰退が言われていますが、もう一度、本来あるべき「美しい国日本」を再認識し、大切に守っていききたいものです。

今年も猛暑が予想されます。日進桜楓霊園にご縁を頂いた皆様、どうぞくれぐれもお体に気をつけてお過ごしください。

株式会社大興企画
代表取締役

平岡 寛



今年もお盆の季節がやってきました。お盆の供養には、「仏さまを敬う」「ご先祖さまを尊ぶ」という意味があり、ご先祖さまや亡くなった人のための供養と、「お世話になったすべての人やものに感謝する」「つまり生き

ている父母や親族などやものへの供養を言います。

これは、お釈迦さまの直弟子の一人、目連尊者（もくれんそんじや）の亡くなった母が餓鬼道に堕ち、盂蘭盆会（うらぼんえ）―手足を縛られて逆さまに吊るされるほど苦しんでいるのを知り、母親の供養法会（くようほうぎ）をすることで、餓鬼道の苦を逃れて無事成仏できたとか。この故事が盂蘭盆会の始まりだと言われています。もう一つは、この供養によっ

て、父母の寿命を延ばし、いっさいの苦悩を除くとされます。お盆は家のすみずみまで清めて身を整え、ご先祖さまや亡き人の霊を迎え、お客様に接するようになつていねいにもてなし、父母の長寿を願い、ともに祝い、祈る供養の行事です。

また、お墓はご先祖さまの供養を通して、生きている人たちが幸せを祈り、今ある命を見つめ直し、いのちにめざめさせていた機会でもあります。ぜひ、何世代も伝わってきたお盆という慣習を次世代の子どもたちにも伝えていただけるよう、お子さん、お孫さん、親族と一緒にご先祖さまのお墓参りにお出かけいただきたいと思

法事のお申し込みについて

龍谷寺では、皆さま方からの法事を受け付けています。

新年には本堂にその年の年忌に当たる仏様の戒名を張り出してあります。

年忌に当たられている各家の方々は、できるだけ新年三ヶ日に寺を参り、法事の受付を済ませていただきたいと思

います。

土日に皆さまのご希望が多いため、日程の調整が難しい場合もあります。

ぜひ、新年早めにもその年の年忌のお申し込みをお願

い申し上げます。

半夏生（はんげっしょう）咲く



半夏生の咲く時期は、夏至から11日目のころを言います。葉に白い葉をつけるので、この名前があります。龍谷寺の庭にも根付きました。

※ドクダミ科・水辺にはえる多年草

手造り・オリジナル仏壇専門店

さん ぜん どう

三千堂

伝えていきましょう
手と合わす感謝の心

米野木信号角

☎0561-74-5101

日進市米野木町東田面123-1

営業時間／午前9時～午後7時

定休日／毎週火曜日

観音巡礼の楽しみ

その②



西国三十三観音納経軸
(龍谷寺観音堂内)

りません。一步引いて、そうせざるを得ないとき、涙ながらに差をつけてもらおうのです。

「巡礼とは、自分の中に仏を見つけるたびである」と宗教評論家のひろさちや先生は、言っておられます。

この言葉の元になったのは聖徳太子が

常日頃、口癖のようにおっしゃった「世間虚仮唯仏是真(せけんごけいゆいぶつぜしん)」という言葉です。私たちは、ふだん「世間の物差し」を当てて物を見ています。たとえば美醜、優劣、善悪などの基準がありますが、これは時代の価値観でクルクル変わります。きのうまでいいとされていたことが、突然悪くなったります。『世間の物差し』は、ちゃらんぼらんだから、そんなものは絶対視してはいけませんよ、というのが「世間虚仮」。世間イコール人間ですから「人間の物差し」と言ってもいいでしょう。

たとえば、学校は、子どもを勉強がよくてできる子、できない子に分けています。本当はどの子もすべて素晴らしい仏の子なのに、点数という人間の尺度で差をつけています。人間にそんな権利はあ

人間の尺度を「虚仮」なるものと

と考えると「仏さまの物差しを持つ」というのが、「唯物是真」にあるがままを無条件で肯定する、という目盛りのない、計らない物差しです。

競争原理や効率優先、お金がすべてといった考え方ではなく、いまあるあなた自身をそのまま肯定するということから、日常生活の中でこびりついた諸々を捨てに行く必要がある。ここで巡礼という「旅」がクローズアップされてくるわけです。

このように観音巡礼は、日常生活を離れ、あるがままの自分に気づき、受け入れられる心の旅と言えるでしょう。これは休暇で行く旅とは異なります。

昔は、寺から寺へと歩いてお参りをするわけですから、足を鍛え、体を鍛えます。そして、その土地の景色を眺め、名物を食し、多くの人々との出会いのなかで、心身をいやしていく事ができます。

ひろさちや先生は、「仏教」という2文字から3つの考え方が定義できるとおっ

しゃっています。1つは文字通り「仏の教え」、2つ目が「仏になるための教え」、3つ目が「仏を真似て生きる教え」と言っておられます。

観音巡礼は、3番目の考え方を実践することです。仏になって目覚め、仏を真似て1日を過ごす。日々積み重ねていくと、「仏さまの物差し」で物事を捉えられようになります。これも観音巡礼がもたらす効果の1つです。

観音巡礼は、修行の旅です。修行という、ついつい歯を食いしばって努力する、あるいは自分の限界に挑戦するというようなイメージを持たれると思います。でも修行の基本はたった2つだけです。

1つは礼拝行。合掌することです。どんなものもすべて敬う。山川草木悉皆成仏(さんぜんそうもくしつかいじょうぶつ)。どんなものの中にも仏さまがいっぱいある、そういう気持を持って手を合わせることで。

もう1つは、布施行です。相手に喜んでいただき、喜んでいただいたことに感謝するのです。自然と手が合さりまします。すると両の掌から温もりが感じられ、自分も命ある者、小さな仏の1人だと気づくのです。

お釈迦さまの修行は1日10きでした。

もちろん、その人の加減で、できるだけでよいのです。お寺でご接待に出されながらゆつくり休んで、ご住職との会話を楽しむ。お参りをし、ご朱印をいただき、そして温泉などに入る。そのすべてが仏さまの導きで、観音巡礼の礼所、それをつなぐ未知、風景、行き交う人々が「まんだら世界」を構成しています。

サンスクリット語で「マンダラ」は、「本質を意味し」「ラ」は持っているもの」と訳されます。仏教で本質とは、いつまでもなく「仏のこころ」です。仏のこころを持った者の集まりが「マンダラ」で、実はすべての生き物が仏の心を持った存在なのです。

人間も、牛や馬も、犬も猫も、草花や樹木、蚊やハエも仏様の縁(え)にし・意思によつてその生死がコントロールされています、必然の命が集まって、この宇宙が存在しているのです。

観音巡礼は、仏さまの宇宙に飛び込んでいく旅。大いに非日常を愉しみ、あるがままの自分・自分のなかにある「仏」を見つけられますように。

龍谷寺では、今から20余年前、坂東西国秩父百観音の旅を円成いたしました。

その時に頂いた

秩父三十三観音納経軸



坂東三十三観音納経軸

朱印帖は、現在龍谷寺観音堂に奉納してあります。一度お参りください。

—JR東海「ひととき」5月号より抜粋—

※西国三十三所観音

数多い観音巡礼のなかでも最も歴史が古く、奈良時代(8世紀初め)に大和長谷寺の徳道上人(とくどうしやうにん)によって創設され、10世紀末に花山法王が再興したという伝説もあります。実際には平安時代に12世紀ごろに確立したものと考えられています。

※坂東三十三所観音

鎌倉幕府を開いた源頼朝が観音信仰のあつかったことから、御家人たちを通じて、関東に観音信仰が広まりました。坂東札所は、平家追討の折、西国札所の荘厳さに触れた関東武士たちの憧れから設けられ、13世紀の初めに確立したといわれます。

※秩父三十四所観音

室町時代(15世紀)に成立したと言われ、はじめは三十三所であったのが、後に1カ所加えられ、坂東三十三所、西国三十三所と合わせて、日本百観音霊場が成立しました。秩父という1地方の小規模な巡礼コースなので、格式高い大寺はないが、地方霊場ならではの素朴な趣があります。

名古屋市東部、日進市の中心に「日進桜楓（おうふう）霊苑」があります。小高い緑の丘陵に建つ霊苑は、春は桜、秋には楓が舞うところから「日進桜楓霊苑」と名づけられました。

日進桜楓霊苑

主・渡辺守綱の助力を得て、伽藍を整備し、当代の住職、成田隆真で38世となります。

当寺の36世は、曹洞宗管長と横浜市鶴見にある曹洞宗大本山総持寺の貴主を務めました。

すでにお墓が建立され、南面一列タイプの新区画「第四ブロック」も好評受付中です。ぜひ一度、お出かけください。



お花の予約 販売致します

当霊苑では毎年、お盆・お彼岸に限って、お花の注文を受け付けています。

ご予約の上、ご利用ください。

お盆期間

平成19年8月12日（日）～15日（水）

代金

2,000円（税込み）。この中には、花一对、線香、ろうそく、マツチが含まれます。お参りの前日、午前中までにお申し込み下さい。

受付時間

午前10時～午後4時

問い合わせ・申し込み

☎0561(72)5454



昨年のイメージ

洋風タイプのお墓



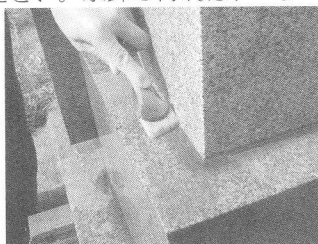
価格はデザインや墓石の色で異なります。

— お墓洗いセットを販売 —

日進桜楓霊苑では、「お墓洗いセット」を販売します。このセットは、パワークロス、花筒洗い用バー、強力水アカ取りの3点。

お墓の花筒、花立のヌメリには花筒洗い用バー（発砲スチール製）の先にパワークロスを巻きつけ、輪ゴムで止め、洗ってください。水鉢の汚れは、パワークロス、強力水アカ取りで、水アカは強力水アカ取りで落とします。

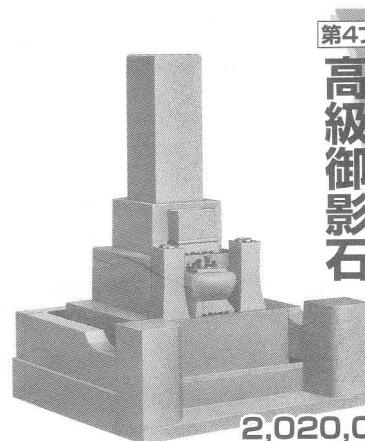
環境を汚さず、石を傷つせず、水だけでOK。簡単、便利なセットです。980円（税込み）。予約要。現地販売所で販売。



1,190,000円

第4ブロック

Aタイプ
名古屋型8寸
高級御影石



2,020,000円

第4ブロック

Cタイプ
名古屋型8寸
高級御影石

おうふう

日進桜楓霊苑



現地案内所
フリーダイヤル

〒470-0102 日進市藤島町寺下甲29番地
（受付時間：午前9:30～午後4:30／定休日：毎週水曜日）



0120-5454-31

☎0561-72-5454

山門②(鐘楼門)

山門の両側に立っている仁王様は、右側が那羅延(まらえん)金剛力士、左側が密迹金剛力士と言います。昭和60年の山容整備事業の一環として建立されました。

仁王様は、お釈迦様と伽藍の守護神です。門衛のように2体置かれるところから、二王とも書きます。通常右が口を開けた阿形(あぎよう)像、左が口を縮めた吽形(うんぎよう)像です。阿吽の阿は、口を開くとき最初に出てくる音で始まりを表わし、吽は口を閉じた最後で終

わりを表わします。この二字で、すべての事柄の成り立ちを集約する考え方です。仁王様が常にこの寺を守護してくれています。



龍谷寺年間予定

1月14日(月・祝)

・大般若祈禱

龍谷寺の大般若経600巻の虫干しのため、この時期に教本に風をあてます。この風にあたると無病息災といわれています。この日、寺では大根と結び昆布を炊き、皆様に振る舞い、一年の無病息災を祈ります。皆様のご参拝をお待ちしています。

9月23日(日・祝)

・秋の彼岸施餓鬼会 秋分の

日

12月31日(月)

・除夜の鐘打鐘 23時30分から受付。甘酒振る舞い

・打鐘の方には幸福たるま進呈。お守り・絵馬もあります

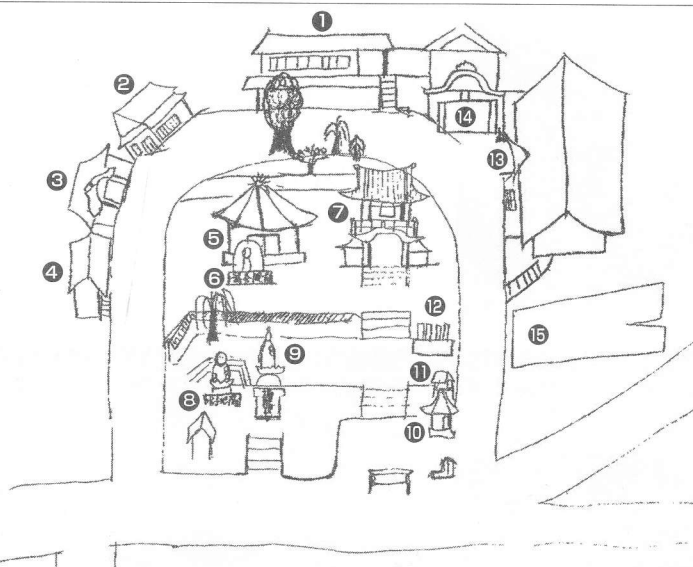
【平成20年】

1月1日(火・祝) 2日(水)

3日(木)

・元旦祈禱 新年あいさつ法事受付

龍谷寺境内案内



1 龍谷寺本堂 2 茶室「心月庵」

3 観音堂

4 十二支及七福善神堂 三十三観音堂

5 八角堂 6 龍谷観音

7 山門(鐘つき堂) 8 水子観音

9 福聚観音 10 福岡家の御堂

11 知恵の文殊菩薩 12 戦没者のお墓

13 庫裏 14 旧玄関 15 日東保育園舎

【日東保育園】 ■バザーのお知らせ■

今年も恒例の日東保育園父母の会によるバザーを次のように行います。当日は、掘り出し物がたくさんあります。また、手作り品やおいしく体にやさしい食品もそろえています。ぜひ、お越しください。

■日時 平成19年10月27日(土) 10時から

■場所 日東保育園(日進市藤島町寺下29・桜楓園隣)

バザー用の品物を募集中。不用品などありましたらご連絡ください。

☎0561(72) 0459

■写経会

今年9月から月1回写経会を行います。心を落ち着けて、お経に親しみましょう。9月21日(金)・10月19日(金)11月16日(金)12月14日(金)。時間は13時30分～15時。会費1回千円。そのほか用紙代要。

■梅花流詠歌教場

毎月1日、龍谷寺本堂新客殿にて練習しています。仏様の言葉の美しさを感じながら、楽しくお供えをしています。

■日東書道会

毎週土曜日(10時～12時、14時～17時)、龍谷寺本堂新客殿にて練習しています。毎月書泉にて昇級有り。講師は、安藤霜秋先生。

■芳桜会茶道教室

毎週土曜日(13時～17時)、龍谷寺茶室「心月庵」にて表千家の茶道を学んでいます。講師は、恒川裕子先生で楽しく教えていただいています。

※問い合わせは、龍谷寺 ☎0561(72) 0001へ。



株式会社

そつび社

互助会会員の方も安心してご相談下さい

☎0120-7712-49

日進市浅田町下深田44-24

☎0561-72-1169

事業部 ☎052-802-7712

長久手店 ☎0561-62-8287

ライフサポート会員制度

Familiar Club 会員
ファミリアクラブ 募集中会員
募集中

入会金・年会費
月々の掛け金
無料!!